

## 平成25年第10回福岡県教育委員会会議（臨時会）会議録

### 1 開催日時

平成25年5月20日（月）14時00分から14時14分まで

### 2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

### 3 出席委員

住吉徳彦、久留百合子、二子石竜子、清家渉、久保田誠二、杉光誠（教育長）

### 4 欠席委員

なし

### 5 出席事務局職員

教育次長 城戸秀明、理事 堀秀行、教育企画部長 川添弘人、  
教育振興部長 吉田法稔、総務課長 辰田一郎、教職員課長 大場茂嘉

### 6 会議

14時00分、住吉委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

本日は非公開案件なく、全て公開と決定された。

#### （1）報告

##### ・平成26年度教員採用試験の実施について

大場教職員課長から、平成26年度福岡県公立学校教員採用試験についての概要説明後、小学校教員、中学校教員、高等学校教員、県立特別支援学校教員、養護教員、栄養教員等の試験区分ごとの採用見込数や実施教科、科目について説明があった。

次に、今年度の改善点等について、三点、説明があった。

一点目は、選考試験の特例に係る変更についてであり、今年度から、前年度第一次試験合格者に対する教職教養試験の免除は、前年度の第二次試験での総合ランクがB以上の者で、前年度に受験した試験区分及び教科・科目と同一の試験の受験者とする旨の説明があった。なお、この変更については、昨年度配布の教員採用試験の実施要項に記載し、予め周知を図っている旨の説明があった。

二点目は、身体障害者を対象とした特別選考に係る変更について、身体障害者の採用枠を新たに設定し、一般選考とは別に選考を実施し、志願及び採用のさらなる拡大を図りたい旨の説明があった。

三点目は、福岡市立高等学校教員の選考試験に係る変更について、昨年度まで本県教育委員会と福岡市教育委員会が合同で実施していた福岡市立高等学校教員の選考試験は、今年度から福岡市教育委員会が単独で実施する旨の説明があった。

次いで審議が行われ、久留委員から、小学校、中学校、高等学校等を含めた教員総数の増減について質問があった。

これに対し、大場教職員課長から、小学校、中学校は特別支援学級の増加に伴い若干増加している。県立特別支援学校についても児童生徒数の増加に伴い増加している。高等学校については今後は減少する見込みである旨の説明があった。

また、住吉委員長から、県立特別支援学校教員について、本年度は30名採用、来年度は40名の採用を予定しているところであるが、特別支援学校教諭免許を持っている教員の割合について質問があった。

これに対し、大場教職員課長から、概ね6割程度の教員が免許を持っている。なお、小学校、中学校から人事異動等で特別支援学校に行く場合には、基本的には特別支援教育の免許を持った教員を対象としている。今後もこのような人事交流については拡大していきたいと考えており、専門の免許を持った教員の割合は、今後、高くなっていくと考えているとの説明があった。

住吉委員長から、県においては、特別支援学校における特別支援学校教諭免許を持つ教員の割合について、引き続き拡大されるように配慮をしていただきたいとの要望があった。

住吉委員長が閉会を宣言し、14時14分閉会した。